

5章 各種資料

5-1. 美心会2025年度のイベント	104
5-2. 診療統計	108
5-3. 各種委員会活動	109
編集後記	113



マネジメントレビュー（経営推進会議）

経営推進会議は、法人の意思決定機関として、経営分析や理事長方針の確認、マネジメントレビューを行っています。経営状況および理事長方針について確認・情報共有し、経営・運営に反映しています。

5-1. 美心会2025年度のイベント

■ 4月1日 入職式

46名の職員が新たに加わりました。理事長から辞令を受け取り、気持ちを新たに新年度がスタートしました。



■ 4月5日 新入職員歓迎会（於 ホテルメトロポリタン高崎）

新入職員による決意表明のほか、余興ではプロのマジシャンによるマジックショーや、豪華景品が当たる抽選会を開催しました。大変にぎやかな雰囲気の中で新入職員を温かく歓迎しました。



■ 4月15日 新入職員歓迎 美心会グループ合同研修会 群馬交響楽団コンサート（於 高崎芸術劇場）

年に1度の美心会グループ合同研修会です。第一部に群馬交響楽団によるコンサート、第二部に理事長による講演が開催されました。



■ 5月 さつきラン&ウォーク2025

1か月間、ウォーキングやランニングの促進をおこなうことで運動習慣を身につけ、職員の健康志向の向上を図ることができました。法人内でも独自のルールで職員同士が競い合い、結果的に企業対抗戦への貢献につなげました。

■ 5月14日 ボウリング大会

147名の職員が参加し、男女別の順位表彰の他にもラッキー賞や特別賞、じゃんけん大会など沢山の景品が用意されており、多くの職員が楽しむことができました。



■ 8月20日 第1回職員スポーツ交流会

職員の健康増進と交流を目的として、高崎アリーナを借りてスポーツ交流会を開催しました。事前に職員から希望種目のアンケートを取り、バドミントンと卓球が選ばれました。



■ 9月5日 納涼祭

親睦会による、職員のために開催されるお祭りです。屋台の定番商品（かき氷、フランクフルト、フライドポテト、焼き鳥、ドリンク（ビール含む）等）が全て無料で提供されます。大変賑やかな夏の風物詩です。

■ 9月9日 救急医療功労者 厚生労働大臣表彰式

本表彰は、厚生労働大臣が都道府県知事の推薦のもと、長年にわたり地域の救急医療の確保や救急医療対策の推進、また、地域の産科医療に貢献した個人や団体、医療機関の功績を讃えるものです。

令和7年度表彰の受賞者として個人20名、3団体、12医療機関が発表され、医療法人社団美心会 黒沢病院が受賞しました。



■ 9月14日～15日 大阪・関西万博旅行

総勢90名で新幹線1両を貸し切って行ってきました。未来社会の姿に触れ、医療の可能性と人々の交流・チームワークの大切さを再認識することができました。



■ 10月11日 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025ぐんま 参加

がんに立ち向かう方々の勇気を称え、がん患者や家族、支援者と一緒に地域一丸となってがん征圧を目指すチャリティーウォーク活動に参加しました。がん患者さんや医療機関のみなさんと一緒に歩き、共にがんと向き合う連帯感を共有することができました。



■ 10月26日 第30回 美心祭 開催

悪天候により、残念ながら中止になってしまった催しもありましたが、屋内では医師講演やダヴィンチ見学、脳卒中治療の紹介、検査抽選会など様々な催しがおこなわれました。また、屋外では抽選会や人気のキッチンカーに多くの人が集まり賑わいをみせました。



■ 11月3日 ぐんまマラソン

美心会表彰規定では男子フルマラソン2時間55分以内で「海外マラソン旅行の贈呈」があります。今回、歴代3人目の達成者が誕生しました。マラソン後の食事会も盛大におこなわれ、健康増進への取り組みとともに、職員間の親睦を深めるよい機会となりました。



【参加者】美心会グループとヴァレオプロ会員 総勢110名（フルマラソン37名、10kmマラソン47名、リバーサイドジョギング20名）

■ 11月8日 ブルークローバー・キャンペーン市民公開講座

伊藤院長による講演と、パネルディスカッションがおこなわれました。約50名の方にお越しいただき、講演会終了後には希望者へ無料PSA検査を実施しました。



■ 11月11日 くろさわ健康文庫寄付

美心祭の売上の一部を近隣の幼稚園と小・中学校3校に図書購入費として寄付しています。1992年から毎年寄付をしており、購入した化学や医療などに関する本は「黒沢健康文庫」として各校で親しまれています。



■ 12月1日 ウインターイルミネーション開始

ヘルスパーククリニック、カーサ・デ・ヴェルデ黒沢、老健くろさわの敷地内にウインターイルミネーションを設営しました。2月末まで点灯しました。

■ 12月6日 忘年会（於 ホテルメトロポリタン高崎）

1年の締めくくりの忘年会。年間で優秀な成績を残した部署や個人への表彰がおこなわれます。職員による余興もおこなわれ、大変な盛り上がりを見せました。



■ 12月18日 第2回職員スポーツ交流会

バスケットボール（3on3）の試合を開催し、全8チーム総勢36名の職員が参加しました。日頃からバスケットをやっている人はもちろん、久々にボールに触る人、ゴールの高さに戸惑う人、感覚をすぐに取り戻した人、全員が楽しむことができました。理事長のご厚意により、上位3チームには賞金が贈呈されました。



■ 12月24日 キャンドルサービス

クリスマスの雰囲気を感じていただくため、サンタに扮した各部署のスタッフが入院患者さんやご利用者さまにプレゼントを手渡しました。感染症対策のため、施設間・病棟間の移動はできませんでしたが、スタッフもささやかに楽しみながら実行することができました。



■ 1月3日 新年会（於 ホテルメトロポリタン高崎）

理事長、副理事長が職員を招待して開催される新年会です。理事長からは新年の挨拶、今年1年の美心会の決意表明と抱負が語られ、職員も年始の決意を新たにします。勤続年数に応じた永年勤続表彰のほか、余興ではジャズバンドによる演奏がおこなわれました。



■ 2月3日 節分

「病鬼」を追い払うため、施設内各出入口で豆まきを実施しました。理事長の「鬼は～外！ 福は～内！」という大きな掛け声と一緒にたくさんの豆をまきました。



■ 2月15日 第10回美心会グループ学術大会

大会実行委員長 木暮道夫

（黒沢病院総合診療科部長 兼 消化器外科部長）

医療、福祉、介護の持続可能性を高め、レベルアップを図るために多くの職種が参加し、37演題の発表がおこなわれました。各々の発表に刺激を受け、活発な討論をすることで、非常に有意義な会となりました。



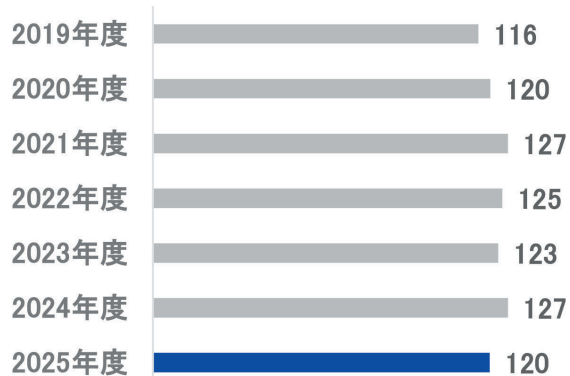
■ 3月8日 健康支援教室（於 高崎芸術劇場）

予防医療の大切さを知っていただくため、人間ドックをご利用いただいた方を対象に開催しています。今回のテーマは「健康長寿で楽しい人生」です。第一部に群馬交響楽団の弦楽器奏者によるコンサート、第二部に医師講演3題のほか、保健師によるオプション検査の紹介、健康運動指導士による健康体操や無料健康相談を実施しました。

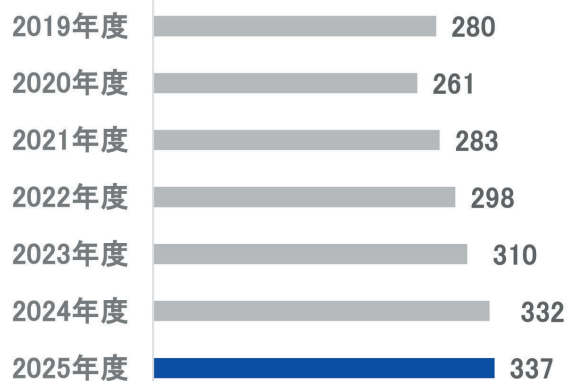


5-2. 診療統計

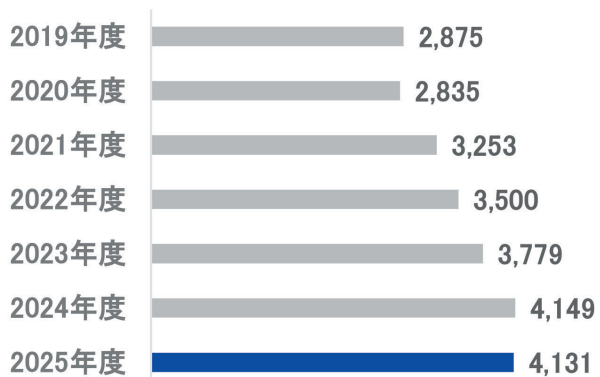
1日当たりの在院患者数(人)



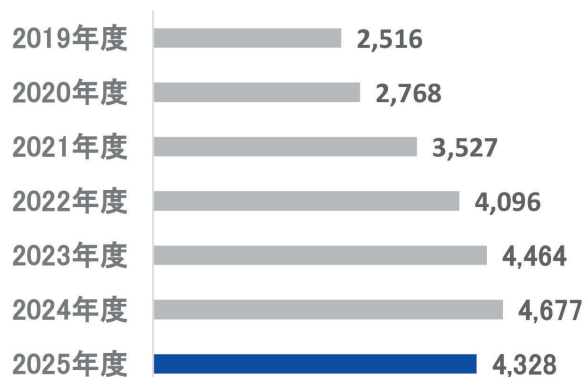
1日当たりの外来患者数(人)



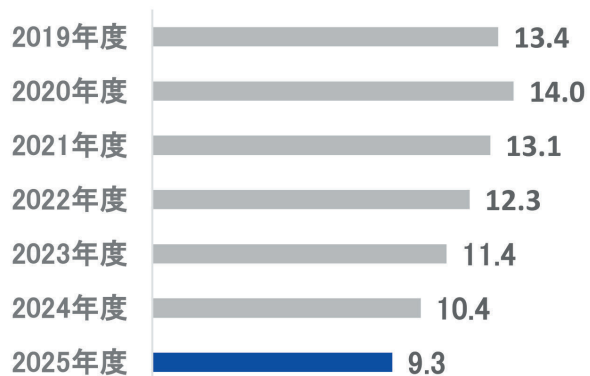
新入院患者数(人)



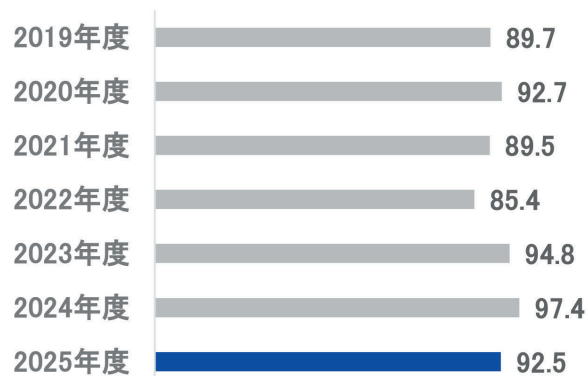
救急受入患者数(人)



平均在院日数(日)



病床利用率(%)



5-3. 各種委員会活動

■ 主な会議と機能、2025年度の実績など（運営に関する会議・委員会）

会議	機能	2025年度実績
経営推進会議	・法人の意思決定機関 ・経営分析と理事長方針の確認、マネジメントレビュー	・年2回（2025年度は5/16、11/26）開催 ・マネジメントレビューを2回実施 ・経営状況および理事長方針の共有と確認
部署代表者会議	・法人の最高意思決定機関 ・理事長方針の具体化と決定 ・ご利用者の方々の人数の定期報告と方向性の決定、各部署からの報告など	・毎週1回（年52回）開催 ・感染症を含む、変化する医療情勢の情報共有、対応検討、周知の徹底 ・週単位での院内外状況の確認と共有をおこない理事長方針の徹底を図った ・黒沢病院およびヘルスパーククリニックの利用者実績定期報告を実施
運営会議	・法人の意思決定機関 ・下部会議や各部署の意見吸い上げ、検討事項や決定事項の審議、確認、承認	・毎月1回（年12回）開催 ・患者、利用者からの意見・クレーム、退院時アンケート内容を共有し検討、対応協議を実施 ・5Sパトロールによる課題共有、対応方法について協議 ・連絡会議からの報告に対し討議・検討
施設基準管理会議	・診療報酬での施設基準に関する意思決定機関 ・施設基準の適正な運用管理 ・医師、看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する計画等の周知	・毎月1回（年12回）開催 ・保険診療の質的向上と診療報酬の適正な精度管理をおこなう ・施設基準項目の該当主管部署より運用状況報告及び改善検討 ・診療報酬への理解と、重要性、必要性の認識を向上させる ・医師、看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する計画等の報告
システム運用会議	電子カルテの勉強及び情報の共有化を図る	・毎月第2水曜日（年12回）開催 ・電子カルテ、その他システム利用に関する情報共有、案件報告を実施

その他、労働安全衛生委員会、図書委員会、医局連絡会議、健診会議、外来部門会議、手術室運営会議、看護部管理会議、総務部管理会議、栄養管理会議、5Sパトロール会議、ISO・Pマーク事務局会議などが稼働している。

■ 主な会議と機能、2025年度の実績など（安全管理に関する会議・委員会）

委員会	機能	2025年度実績
安全管理委員会	・医療安全に関する審議と意思決定機関 ・院内の安全管理対策の企画、実施	・月1回（年12回）開催 ・院内のインシデント、アクシデントについて状況を共有し、予防策や対応を協議 ・院外の医療事故情報を共有 ・医療安全職員研修（年2回開催7月、2月）
院内感染対策委員会	・院内感染予防のための意思決定機関 ・院内感染患者さんと職員の健康を守る ・チーム医療としての経済性も考慮する ・職業感染防止	・月1回（年12回）開催 ・各種マニュアル作成と編集 ・職員研修実施（7月、2月） ・ICT活動の推進 ・職業感染報告及び対策
DPC精度管理委員会 / 診療録管理委員会	・コーディング精度管理機関 ・適切なコーディングのための体制強化 ・カルテ管理に関する意思決定機関 ・診療記録に関する万全の運用、保管管理	・月1回（年12回）開催 ・診療記録の監査報告 ・DPCデータ報告（詳細不明コード割合、コード変更事例、各症例の事例報告等） ・コーディングテキストに基づいて適切な主病名選択やDPC制度の理解を深めた
薬事委員会	・医薬品の採用、変更についての審議、決定機関	・医薬品添付文書改訂の報告 ・製薬会社からの情報提供の報告 ・院内副作用発生報告 ・抗がん剤・抗生物質の使用状況、新規採用薬の報告、採用薬見直しの実施
医療機器管理委員会	・医療機器の管理に関する意思決定機関 ・各部署の医療機器の点検、校正の管理	・月1回（年12回）開催 ・各部署における医療機器の修理点検報告 ・各部署における種々の医療機器購入報告

その他、輸血検討委員会、精度管理委員会、医療ガス対策委員会、医療廃棄物管理委員会、災害対策委員会、薬品物品管理委員会などが稼働している。

■ 主な会議と機能、2025年度の実績など（患者さんに関する会議・委員会）

会議・委員会	機能	2025年度実績
多職種 連携会議	・患者の退院支援に関する部署間の調整機関 ・必要な情報を共有し、自宅退院、転院、転所の方向性を調整する ・有効な病床管理及び病床に関する情報共有	・毎週1回開催 ・退院支援カンファレンス（入院7日以内の患者、DPC入院期間超えの患者、方向性未定患者の確認・調整） ・患者サポート窓口からの報告 ・退院患者のモニタリング報告 ・「ベッドコントロール会議」を同時開催
クリニカル パス委員会	・クリニカルパス作成、導入、運用、管理の意思決定機関 ・当院に多い入院治療ケアパターンを中心に作成し、適宜検討を加える	・毎月1回（年12回）開催 ・パス適用率：60.7%（4,056入院中2,462件）※前年比13.5%UP ・脳外科、歯科のパス化により適用率向上 ・新規パスの作成、既存パスの見直し実施 ・抗がん剤プロトコルシステムのパス一体化など、新システムを導入 ・バリエーション統計への対応を実施 ・定期的な帳票類の入れ替え ・トラブルへの対応や対策の立案
NST委員会	・栄養管理に関する意思決定機関 ・NST対象患者についての栄養管理の検討、新規NST対象者の選定 ・NST活動に係る学習、情報共有、連絡確認など	・毎月1回（年12回）開催 ・NST実施人数、算定点数報告の実施 ・栄養補助食品や経管栄養剤の見直しや新規導入検討を実施 ・栄養管理に関する勉強会を実施
排尿ケアチーム カンファレンス	・排尿自立指導に関する検討機関 ・尿道カテーテル抜去後に下部尿路機能障害が予想される患者さんへの排尿自立指導	・毎週1回開催し、排尿自立指導の実施状況の把握、実施内容、運営方法の評価を実施 2025年度の実績： ・排尿自立支援加算：943名 2,152件 ・外来排尿自立指導料：2名 2件
身体拘束 最小化 チーム会議	・身体拘束最小化（認知症ケア）に関する意思決定機関 ・身体拘束対象者、認知症患者についてのケア対策の検討 ・認知症、身体拘束最小化に係る学習、情報共有、連絡確認など	・毎月1回開催（年12回開催） ・身体拘束状況、認知症ケア加算等の算定状況の報告 ・認知症ケアの推進（勉強会/ポスター）や検討会
BCP推進 チーム会議	・BCPの定期的な見直し ・備蓄品・整備状況の確認 ・リスク、課題の把握と改善 ・災害時の対応体制、部署間連携の確認 ・訓練の企画・策定 ・他の医療機関との情報共有、連携調整	・四半期に1回開催 ・黒沢病院BCPを第2版へ更新 ・BCP事務局による机上訓練計画の策定 ・医薬品・医療材料・食料・水等の備蓄状況の確認 ・電子ホワイトボードの導入

その他、在宅看護委員会、転落・転倒予防委員会、認知症ケア委員会などが稼働している。

■ 各活動について、内容と2025年度の実績など

項目	内容	2025年度実績
ISO9001 ：2015	・ ISOが定める製品やサービスの品質マネジメントシステムに関する規格 ・ PDCAサイクルを回し、美心会が提供する医療サービスの継続的な改善が目的 ・ 2001年12月5日に認証取得：病院としては群馬県で1番、全国では13番目	・ ISO/Pマーク事務局会議を6回開催 ・ 1月、7月 新入職者研修を実施 ・ 3月 27部署の内部監査実施（ISO関連） ・ 11月、5月 マネジメントレビュー実施 ・ 11月、6月 品質目標発表会実施 ・ 11月 内部監査員養成研修を実施 ・ 11月 サーベイランス審査実施
Pマーク	・ 一定の要件を満たした団体（医療法人など）に対し、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）が使用を許諾する登録商標	・ 5月 現地審査を受審 ・ 9月 内部監査実施（個人情報関連） ・ 2月 個人情報保護教育研修を実施
病院 機能評価	・ 病院の質と安全の向上、改善を図るため、日本医療機能評価機構が全国の病院の運営管理や医療について、4つの評価対象領域から成る評価項目により評価 ・ 受審病院は評価結果に基づき改善活動を推進し、病院体制の一層の充実や医療の質の向上に努めていく（認定有効期間は5年）	・ 1998年初認定、2024年に6回目の更新 ・ 継続改善を求められた事項について「期中の確認」を実施 ・ 次回更新（7回目）は2028年を予定
健康経営 優良法人 ホワイト 500	・ 健康経営優良法人とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人を評価する制度で、2016年に創設され経済産業省が認定・表彰する ・ ホワイト500は「健康経営優良法人」のうち、大規模法人部門の認定上位500法人	・ 2017年より申請し、これまで健康経営優良法人「ホワイト500」を通算8回認定 ・ 今年度申請した2026年度認定は、大規模法人部門「ホワイト500」において、全4,175社中1～50位の認定を得た
ドック 機能評価	・ 公益社団法人 日本人間ドック・予防医療学会（旧名：日本人間ドック学会）が実施する第三者評価事業（2004年から開始） ・ 人間ドック、健康診断の社会的使命である健康寿命を延ばすべく、予防医療の実践と確立を目指して実践されている ・ 認定期間：5年	・ 2005年に初回認定取得（第31号） ・ 今年度更新審査を受審 ・ 審査基準がVer.5.0となり、評価項目が従来の96項目から114項目に増えるとともに、書面からより現場を重視した審査に変更 ・ 当センターの取り組みが高く評価され、4回目の更新認定を取得

■ 独立した委員会、機能と2025年度の実績

委員会	機能	2025年度実績
治験審査委員会	・ 治験もしくは市販後臨床試験に関する調査・審議機関 ・ 治験の適正かつ安全な実施のための審査を実施する	・ 不定期開催（2025年度は開催なし） ・ 黒沢病院の治験実績；clazakizumab・心血管イベント減少の臨床第3相治験に参加 ・ ヘルスパーククリニックの治験実績；ONO-1110・間質性膀胱炎の第2相、ZG-802・低活動膀胱の臨床第2相治験に参加 ・ 上記試験は、第三者機関の外部治験審査委員会にて審議されている
研究倫理審査委員会	・ 研究や、臨床的評価が未確立の先端的または実験的治療をおこなう場合の、倫理的観点からの審議をおこなう機関	・ 研究申請に応じて不定期開催 ・ 通常審査1件、迅速審査13件（観察研究11件、介入研究2件）実施 ・ HP公開の承認案件およびオプトアウト案件について、整備・更新を随時実施 ・ 部署代表者会議にて状況を報告（2026.3.9）
臨床倫理審査委員会	・ 終末期医療における延命措置や蘇生不要指示などを倫理的視点から審査する機関	・ 2019年12月に設置 ・ 不定期開催 ・ 2025年度 1件 「生食注シリンジの適用外使用について」 審議結果：使用を許可（2025.4.14）

編集後記

2025年度は、本年報でもご紹介しましたとおり、DXの進展を実感した一年となりました。DXは「効率化」の印象が強いですが、その先にあるのは、患者さまやご利用者の皆さまと向き合う時間を増やすことです。本年報を通じ、私たちの取り組みについてご理解いただけますと幸いです。

（総務部 設楽恭子）

業務外の交流・活動が活発になり、特に球技を中心としたスポーツ交流が盛んにおこなわれました。「ランニングは苦手だけど球技なら…」と、これまでのイベントでは見られなかった顔ぶれも参加し、さらに交流の幅が広がったと思います。健康増進だけでなく、職員同士の一体感をより深めることができた一年となりました。

（総務部 須田理保子）

お忙しい中、寄稿して下さった先生方、職員の方々に感謝いたします。また、内容の確認や校正をスムーズに進めて下さった総務部の須田主任、設楽主任、どうもありがとうございました。美心会全体として、日常の医療活動を精力的に進めながらも、職員旅行や様々な親睦会活動・部活動などのイベント、そして健康・運動支援などに力を入れてきた一年間であったと思います。そのようなアクティブな様子をこの年報から読み取っていただければありがたいです。（統括技術室 三輪篤史）